

学 校 別 力 目・標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ※ペア・グループ学習を取り入れた協働的な学び、タブレット端末を活用した個別最適な学び、授業観察・自己申告面談による授業改善	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	＜保護者＞ 学校は、こどもたちの学力の定着、向上のために授業改善に取り組み、分かりやすい授業を行っている。 % ＜教員＞ 年3回の授業観察、自己申告の面談において、管理職と協議し、指導法の改善に取り組んでいる。 % ＜平均＞ %	4:90%以上			A	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 ※区教研等での学びや授業への活用、OJT実践、地域連携等	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:85%以上			B	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 ※行事や会議の精選・効率化、個々のワークライフバランスの推進、「働きやすさ」+「働きがい」、夕会等の議題精選、C4th等での伝達による業務時間の効率化	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。		2:80%以上			C	
					1:80%未満			D	
た自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 い き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 ※特支校内委員会の継続的な実施と充実、異学年等との交流学习、ICT教育ソフトの活用、サポートルームとの連携	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	＜児童＞ 学校が楽しく、友達と仲良く過ごしている。 % ＜保護者＞ 各教員は一人一人のこどもにとって、安心できる、温かい雰囲気の学級づくりに通じ組んでいる。 % ＜平均＞ %	4:90%以上			A	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 ※いじめアンケート、WEBQUの実施・活用、いじめ認知件数等の継続的な記録、いじめ対策委員会、生活指導夕会の実施	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。		3:85%以上			B	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 ※SCとの日々の連携、保護者の相談、SCの紹介(児童・保護者)、校内委員会の活用、ホットルームの活用	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:80%以上			C	
					1:80%未満			D	
安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造 6 環的 境なを 学びつ く空間 まると安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 ※ICT環境整備(タブレット等のICT機器をより使いやすくする学習環境整備) 読書環境の充実(児童にとって有意義な図書資料の充実)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	＜児童＞ 学校のきまりを守り、安全に生活している。 % ＜教員＞ 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指してICT機器を効果的に授業で活用している。 % ＜平均＞ %	4:90%以上			A	
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。 ※定期的な避難訓練や安全点検の実施 交通安全指導員や消防署との連携	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:85%以上			B	
					2:80%以上			C	
					1:80%未満			D	
学地学 校域校別 をコ・目 つミ家標 くユ庭フ リニ・ マテ地 すイ域 の核連 と携して協 働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 ※コミュニティスクールの推進、学校運営協議会の開催、いきいき応援隊による保護者ボランティア、地域人材・地域教材の活用	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	＜保護者＞ 学校は家庭、地域とのかかわりを深める教育活動(地域の人材を活用した学習や保護者ボランティアの参加等)に取り組んでいる。 % ＜教員＞ 地域学校協働本部と連携し、地域力を生かした特色ある教育活動を推進している。 % ＜平均＞ %	4:90%以上			A	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。 ※日々の安全指導、いきいき応援隊見守りボランティアによる校外学習の安全指導、春・秋の交通安全週間による地域見守りの実施、登校支援員による登下校見守り	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:85%以上			B	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。 ※保護者会資料による啓発、体育・健康教育授業地区公開講座講演会、道徳授業地区公開講座講演会、セーフティ教室の実施等	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:80%以上			C	
					1:80%未満			D	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す